

平成28年12月15日 11:05~11:30
土研 新技術 ショーケース 2016 in 札幌

寒地農業用水路の補修における FRPM板ライニング工法

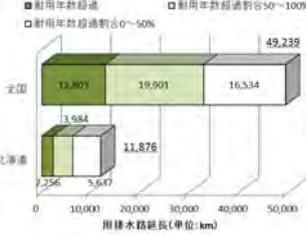
国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所
水利基盤チーム 石神 暁郎

御紹介する新技術・・・ 「 FRPM板ライニング工法 」



- 劣化・老朽化した農業用水路や排水路などのコンクリート水路の表面を補修する工法です。
- 水理特性に優れたFRPM板を配置することにより、既設水路を取り壊すことなく、劣化・老朽化により低下した水路の性能の回復・向上が図られます。

背景・・・ 劣化・老朽化する寒冷地の農業用水路



地域	耐用年数超過割合0~50%	耐用年数超過割合50~100%	耐用年数超過割合100%
全国	13,803	19,901	16,534
北海道	7,256	3,647	11,876

■耐用年数超過割合0~50% □耐用年数超過割合50~100% ▨耐用年数超過割合100%

基幹的水路の延長と耐用年数超過割合別水路延長※1. ※2



寒冷地の農業用コンクリート水路
水路の側壁に生じた劣化(凍害)

寒地農業用水路の補修における FRPM板ライニング工法



- FRPM板を表面被覆材とし、水路躯体コンクリートとFRPM板との間に緩衝材を配置した工法。
- FRPM (Fiberglass Reinforced Plastic Mortar)・・・ガラス繊維強化プラスチック(FRP)と樹脂モルタル(Resin Mortar)との複合材。

開発の経緯・・・ 【1/2】

- 温暖な地域における農業用水路の補修では、樹脂系、セメント系、パネル系等の各種表面被覆材を用いた様々な性能を有する表面被覆工法が適用されています。
- しかしながら、寒冷な地域における補修では、温暖な地域において必要とされる性能に加え、凍結融解に抵抗する性能や、より優れた施工性能が求められます。



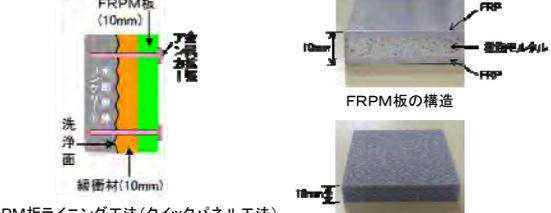
融雪水に曝される農業用水路



融雪水に曝される表面被覆材

開発の経緯・・・ 【2/2】

- 水利基盤チームでは、(株)栗本鐵工所と共同で、温暖な地域で適用されているパネル系の表面被覆工法であるFRPM板ライニング工法について改良を進めました。
- FRPM板と水路躯体コンクリートとの間に緩衝材を配置する新たな表面被覆工法(クイックパネル工法)を開発しました。



FRPM板ライニング工法(クイックパネル工法)断面概要

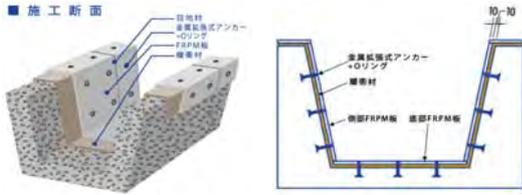
FRPM板の構造

緩衝材(15倍発泡ポリエチレン)

工法の概要・・・

【1/2】

- 老朽化した農業用コンクリート水路の内面に発泡ポリエチレンの緩衝材を挟んで、FRPM板をアンカーボルトで水路躯体コンクリートに固定する表面被覆工法です。
- 水路躯体コンクリートとFRPM板の間に滞留した水分が凍結融解を繰り返しても、その負荷を緩衝材が吸収することで凍結融解に対する抵抗性を高めることができます。



工法の概要・・・

【2/2】

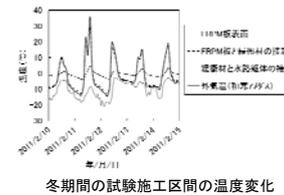
- FRPM板が有する優れた水理特性(粗度係数:0.012)により、水路の水利用性能が確保できます。
- アンカーボルトには、施工性、高耐食性を有する芯棒打込み式金属拡張式アンカー(所要アンカー引抜き強度:7.6kN/本)を使用します。
- 目地材には、耐候性、引張接着性、柔軟性、施工性に優れた成分湿気硬化型ウレタン系シーリング材を使用します。



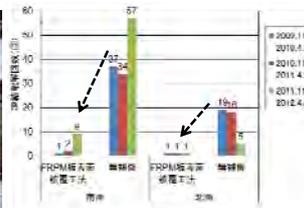
工法の特長【1/5】

■凍結融解抵抗性

- 緩衝材とFRPM板で被覆することにより、水路躯体コンクリートの凍結融解の発生を抑制することができます。



冬期間の試験施工区間の状況



FRPM板で補修した場合と無補修の場合の水路躯体コンクリートの凍結融解回数※3)

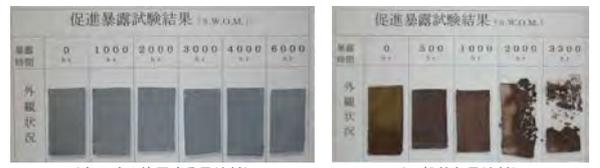
工法の特長【2/5】

■漏水防止効果

- FRPM板の突合せ部に、耐久性に優れた目地材をシーリングするので、止水効果が得られます。



目地材の促進耐候性試験※



(本工法で使用する目地材) (一般的な目地材)
※JIS A 1415に準拠したサンシャインカーボンアークランプによる促進耐候性試験 10

工法の特長【3/5】

■水路表面の再構築

- 水路表面をFRPM板で被覆することにより、既設構造物の機能が維持されます。



施工後の通水状況

FRPM板の粗度係数※

性能項目	標準値	試験値
粗度係数n	0.012	0.00850~0.00973

※農水省:土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計「水路工」※4

FRPM板の耐候性、耐摩耗性※

性能項目	品質項目	品質規格値	試験値
耐候性	紫外線による劣化	膨れ、ひび割れ、剥がれ、変形がないこと	膨れ、ひび割れ、剥がれ、変形は認められない
耐摩耗性	摩耗深さ	標準供試体に対する平均摩耗深さの比が0.5以下	0.42

※農水省:農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【開水路補修編】(案)※5

工法の特長【4/5】

■施工性が良く、経済性に優れる

- 特殊な機械や作業を必要としないため施工が容易で、工期短縮によるコスト削減を図ることができます。



工法の特長【5/5】

■環境に優しい

- 既設の水路を取り壊さない工法なので、産業廃棄物の発生を抑制することができます。





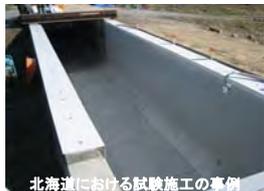
本工法による補修工事の例

従来の改築工事の例

機能を保持し続けるFRPM板(施工9年目の状況)

自然の中を流下する用水路

農林水産省 官民連携新技術研究開発事業 寒冷地におけるコンクリート開水路の 将来的なモニタリングが可能な更生工法の開発^{※6}




北海道における試験施工の事例

東北における試験施工の事例

- FRPM板を表面被覆材とし、水路躯体コンクリートとFRPM板との間にポーラスコンクリートを配置した工法。
- 凍結融解作用に対する抑制効果、補強効果が期待でき、また、既設水路の内部状況と施工材料の経時変化を長期的にモニタリングすることができます。

■研究開発組合

土木研究所寒地土木研究所
鳥取大学
(株)栗本鐵工所
(株)ドーコン

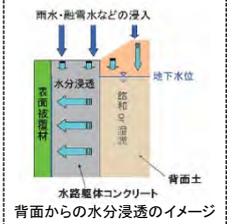
■研究機関

平成25年度～平成27年度

■工法の概要

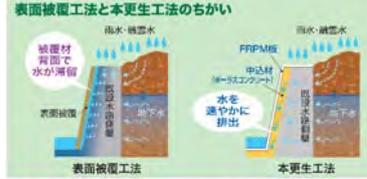
北海道・東北に代表される寒冷地では、農業用コンクリート開水路において、躯体背面から浸透した水分を劣化因子として凍結融解作用により凍害が発生するが、劣化因子である背面浸透水を排出可能な補修・補強工法は存在しません。

そこで本研究開発事業では、寒冷地で実績のあるFRPM板を既設水路内面に設置することで形づくられる合成構造により既設水路を補強し、さらに透水性・断熱性に優れた中込材(ポーラスコンクリート)を用いる更生工法を開発しました。



工法の概要

表面被覆工法と本更生工法のちがい



試験施工の様子



構成図



水路更生工法の概要

工法の概要(使用材料)



FRPM板



金属拡張アンカー
(骨材粒径:6mm)



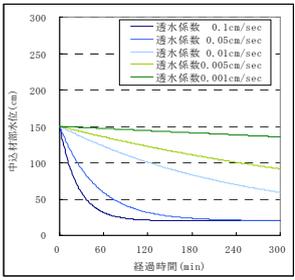
中込材(ポーラスコンクリート)



目地材

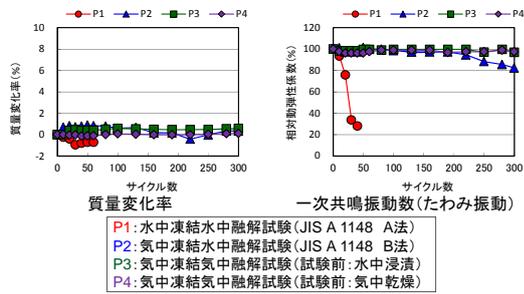
凍結融解作用に対する抑制効果(透水性)^{※7}

- 中込材にポーラスコンクリートを使用することで既設水路背面からの浸透水を排除します。
- 中込材が飽和した状態を仮定し試算した結果、透水係数0.05cm/s以上であれば速やかに排出が可能となります。
- そこで、ポーラスコンクリートの空隙率は20%程度としました。



(水路高h=150cmの場合)
透水係数の違いによる
中込材部の水位低下試算結果

凍結融解作用に対する抑制効果 (中込材の凍結融解抵抗性)^{※8}



- 質量変化率はほとんど変化せず、スケーリングは生じません。
- 空隙内部が飽水しなければ、十分な凍結融解抵抗性を有します。

補強効果^{※9}

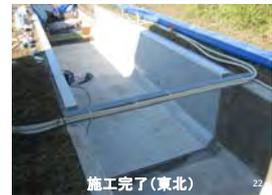
- 耐力低下した既設水路にFRPM板とポーラスコンクリートにより補強を図ることで、新設時と同等以上の構造機能を有することを検証しました。
- 凍害による強度低下に加え、スケーリングや摩耗による断面減厚により耐力低下したフリームに対し、ポーラスコンクリートを介してFRPM板を設置した場合を想定し、FEM解析によりシミュレーションした結果、耐力向上が認められました。
- 梁試験体、フリーム試験体を用いた載荷試験を行った結果、耐力向上が認められました。



試験施工状況【1/2】



試験施工状況【2/2】



施工実績

工法名	施工場所	施工面積 (m2)	施工年月	対象
FRPM板 ライニング 工法	北海道内	626.65	2012年11月	開水路(ボックス) 側壁・底版
	北海道内	751.66	2016年11月	水路トンネル 側壁
	北海道内	103.10	2016年12月	開水路(ボックス) 側壁・底版
	北海道内	13.35	2016年11月	開水路(ボックス) 側壁・底版
水路更生 工法	北海道内	237.06	2016年10月	開水路 側壁・底版

お問い合わせ先

- 株式会社 栗本鐵工所
札幌市中央区北1条西3丁目3番地 敷島北一条ビル7階
TEL:011-281-3308, FAX:011-281-3369
担当:米田, 松原
- クイックパネル工法研究会事務局
札幌市北区新川4条4丁目1-40 (北海道管材(株)内)
TEL:011-769-7077, FAX:011-769-7078
担当:平山
- 寒地土木研究所 水利基盤チーム
札幌市豊平区平岸1条3丁目1-34
TEL:011-841-1764, FAX:011-842-9173
担当:石神

参考文献

- ※1: 石神暁郎・金田敏和・蒔苗英孝・会沢義徳・西田真弓・佐藤智: 超音波伝播速度の測定によるコンクリート開水路の凍害診断, 農業農村工学会誌, Vol.80, No.6, pp.13-16, 2012
- ※2: 農林水産省農村振興局: 平成21年度農業基盤情報基礎調査報告書, pp.61-82, 2011
- ※3: 佐藤智・石神暁郎・金田敏和: FRPM板と緩衝材を用いた表面被覆工法の寒冷地での耐久性およびコンクリート開水路に対する凍結融解作用抑制効果, コンクリート工学年次論文集, Vol.35, No.1, pp.1675-1680, 2013
- ※4: 農林水産省農村振興局: 土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計「水路工」基準 基準の運用 基準及び運用の解説, pp.185-188, 2015
- ※5: 農林水産省農村振興局整備部設計課施工企画調整室: 農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【開水路補修編】(案), pp.79-81, 2013
- ※6: 石神暁郎・緒方英彦・藤本光伸・青山裕俊: 寒冷地における開水路の更生工法, 農業農村工学会誌, Vol.83, No.9, pp.37-40, 2015
- ※7: 竹田誠・石神暁郎・緒方英彦・青山裕俊: 水路更生工法の断面構成の評価, 平成27年度農業農村工学会大会講演会講演要旨集, pp.726-727, 2015
- ※8: 緒方英彦・石神暁郎・田場一矢・藤本光伸: ポーラスコンクリートの凍結融解抵抗性および熱的性質, 農業農村工学会誌, Vol.83, No.9, pp.29-32, 2015
- ※9: 渡部浩二・竹田誠・田場一矢・緒方英彦: 寒冷地における水路更生工法の補強効果, 水と土, No.177, pp.63-67, 2016